

# 緩和ケア診療部

## 緩和ケアって

命に関わる病気に直面した患者さんやその家族に対して、さまざまな苦痛を緩和し、生活の質（QOL）を向上させるために、適切なケアを行う医療です。

がん患者さんはもちろん、心疾患、呼吸器疾患、さらに腎不全など、様々な疾患を持つ患者さんと関わります。



## 緩和ケア医を増やすための試み

**第2回北海道緩和ケア医・精神腫瘍医キャリアパス説明会**

北海道で緩和ケアやりませんか？

緩和ケア・精神腫瘍に興味のある医師・医学生を対象にWeb説明会を行います

- 北海道で緩和ケア医・精神腫瘍医として働きたい
- いまの仕事をやめずに緩和ケアの仕事もしたい
- 少しの間だけ緩和ケアを勉強したい
- 将来緩和ケア医・精神腫瘍医になりたい

などの希望をお持ちの医師、研修医、医学生の方、お気軽にご参加ください

**Web開催**  
2026年8月12日(水)  
19:00～20:30

**日時・形式**

**プログラム**

- 現役医師のキャリアパス紹介
- 北海道内の就職、研修可能施設の紹介
- 研修プログラムの紹介
- グルーptーク（質問コーナー）  
※グループワークは担当者に自由に質問できるコーナーです  
緩和ケア医の仕事についてなど気軽に質問できます

右のQRコードより事前参加登録をお願いいたします。  
(2026年8月11日8:00締切)  
登録用URL：  
<https://forms.gle/1aDe4tQz7stuc8VdVh0WpM59A> #T02WN3e9wR/act  
お問合せ KKR札幌医療センター 緩和ケア科医師 大場 洋子  
電子メール：dachangyangzi658@gmail.com  
参加登録いただいた方には、近くなりましたら視聴用URLと視聴方法についての情報をお送りいたします。

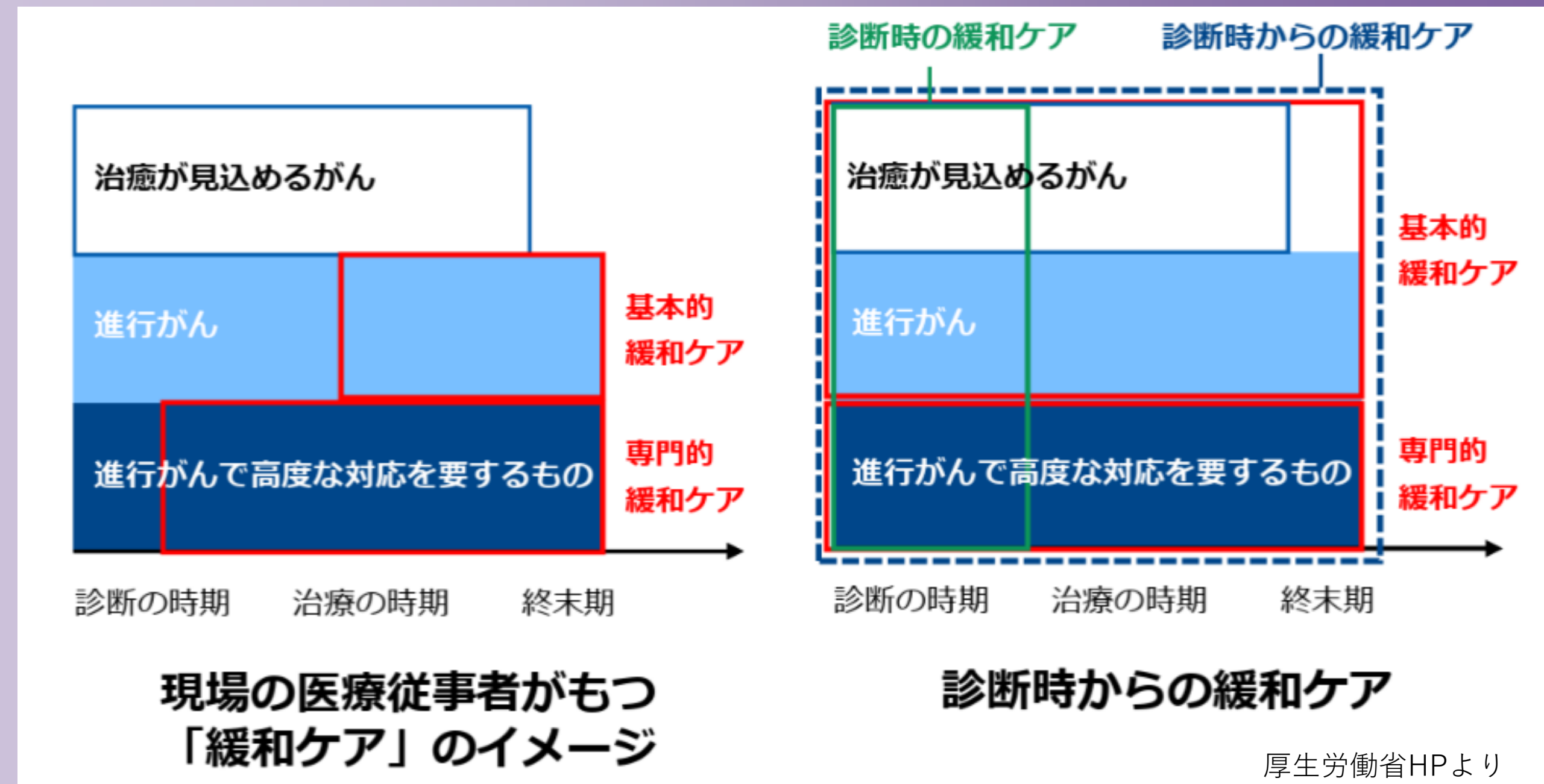
## ← キャリアパス説明会

全道から緩和ケア医精神腫瘍医が集まり、それぞれのキャリアパスを具体的に説明+小グループに分かれて座談会。今後のキャリア形成の参考になります

## ↓ 北海道後期研修プログラム

15の病院群が連携して緩和ケア専門医を育てるためのプログラムを作成。自由度の高いプログラムの中で専門性を高めることができます。

## 早期からの緩和ケア



## 北海道広域研修プログラムとは？

北海道広域研修プログラムでは、緩和医療の専門家を目指す医師が、北海道において各人の目指す専門医像に合った臨床研修カリキュラムを通じて優れた緩和ケアの能力を獲得する機会を提供します（複数の施設での研修が可能）。日本緩和医療学会認定の緩和医療専門医取得をサポートします。

研修カリキュラムの詳細をダウンロード (PDF)

参加施設一覧へ

お問い合わせフォームへ

### 01. 各自が目指す専門医像に合わせた研修内容の設計

緩和ケア病棟、緩和ケアチーム（緩和ケア外来を含む）、在宅緩和ケアを自由に組み合わせることで自由に研修カリキュラムを組み立てることが出来ます。複数の参加施設での研修が可能です。研修途中のカリキュラム変更、施設変更も柔軟に対応します。

### 02. 充実した指導体制

指導医、専門医のサポートのもと、緩和ケア病棟主治医、緩和ケアチームメンバー、緩和ケア外来担当医、在宅主治医として、ガイドライン等に則った標準的なアプローチを経験、習得することができます。定期的にプログラム委員会を開催し、全施設の指導医、専門医が専攻医の研修をサポートします。ご希望に合わせて臨床研究、学会発表、論文作成、緩和医療専門医試験受験等の指導を行います。

### 03. 専門的緩和ケアの経験

神経ブロック、IVR、緩和的放射線治療、神経腫瘍学について、実施施設での研修・見学が可能です。

### 04. 精神腫瘍医を目指すためのアドバンス研修

本プログラム修了後、更に精神腫瘍医を目指す方のための「精神腫瘍医養成プログラム」への参加が可能です。

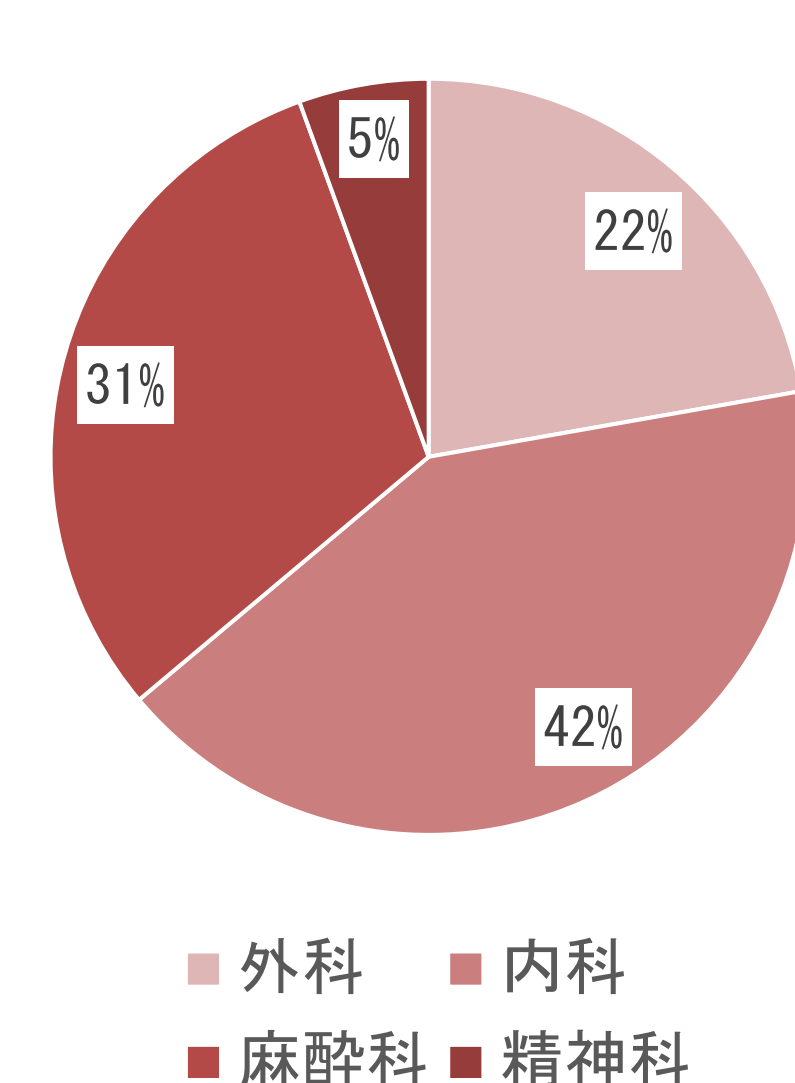
精神腫瘍医養成プログラムの情報をダウンロード (PDF)

## 緩和ケア医とは

様々なバックグラウンドを持った医師が、自分の働き方、価値観、希望に添って働いています。必ずしも専門医を取得しなくても“緩和ケア医“として働いている医師もいるものの、専門的緩和ケアを行うために一定の学びは必要と考えます。北海道の緩和ケア専門医のバックグラウンドでは総合診療医や家庭なども含んだ内科系医師が最多なものの麻酔科医も3割と多い傾向です。外科の中には産婦人科や泌尿器科医など外科系医師を含めています

旭川医科大学病院は連携研修施設  
もちろん旭川医大で2年の研修を行って頂ければ専門医受験資格は取得できます  
更に多くの病院で研修したければ北海道広域研修プログラムへ

北海道の緩和医療学会専門医 (36名)のバックグラウンド

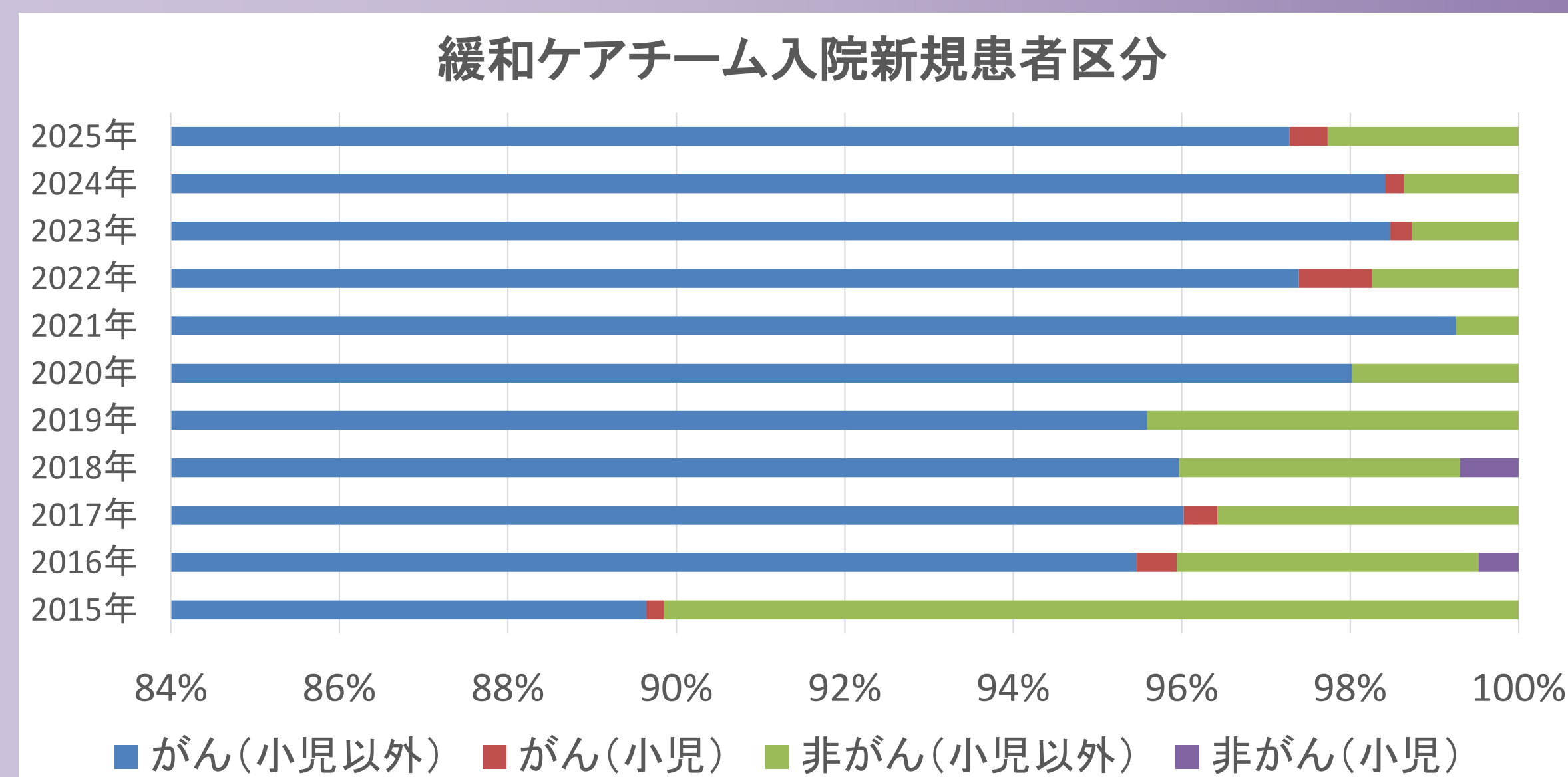


## 緩和医療学会専門医受験資格

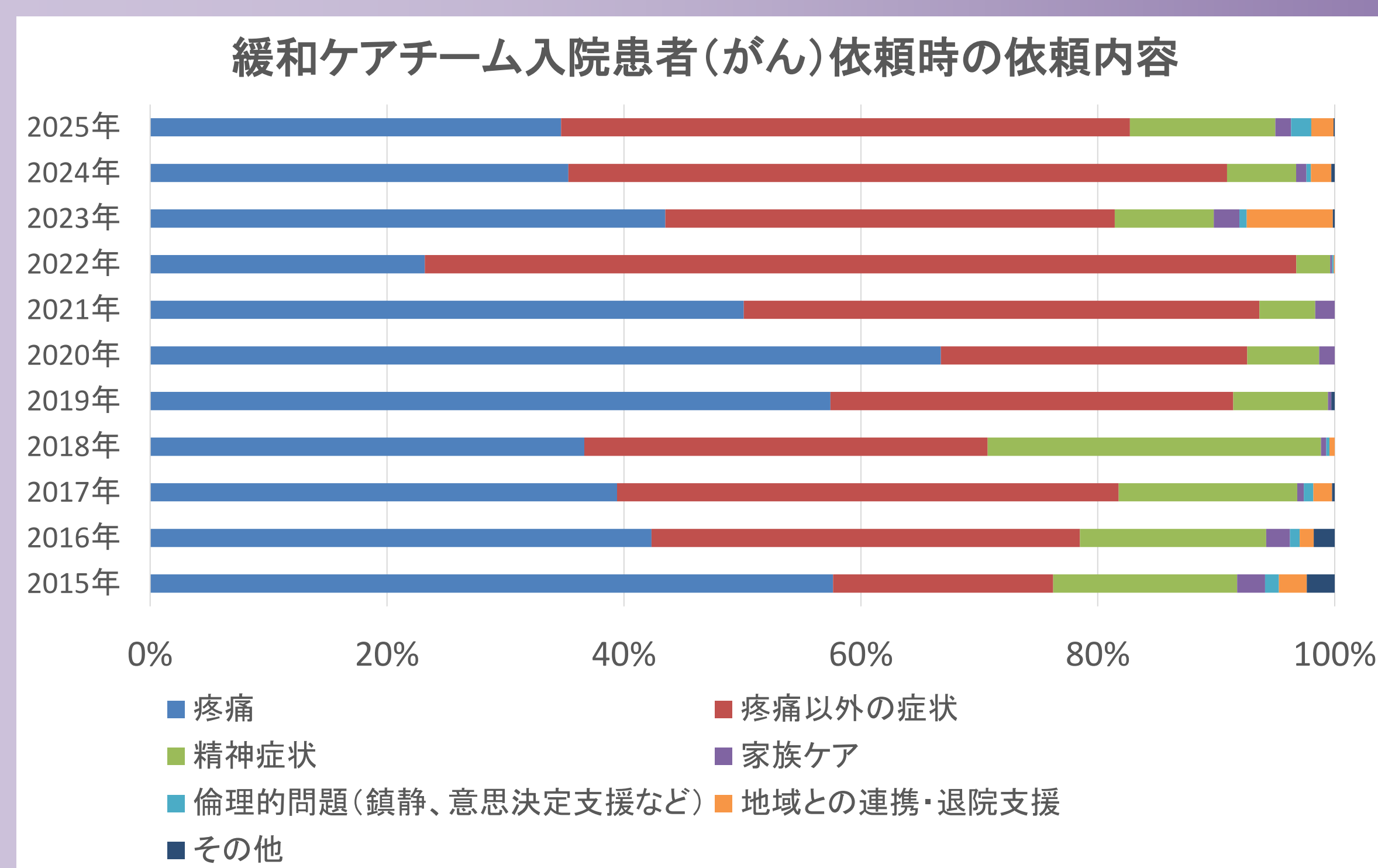
- 5年以上の緩和医療の臨床経験を有するor19基本領域の学会専門医を取得
- 緩和医療学会が認定している基幹病院、**連携病院(旭川医大はここ)**で2年以上の臨床研修を修了
- 学会発表などの学術的活動
- 緩和ケア研修会の受講歴
- 教育セミナーの受講歴
- 申請時点で2年以上の緩和医療学会員歴

\* 特例措置として認定医を取得し専門医へ移行という道もあります(2029年まで)

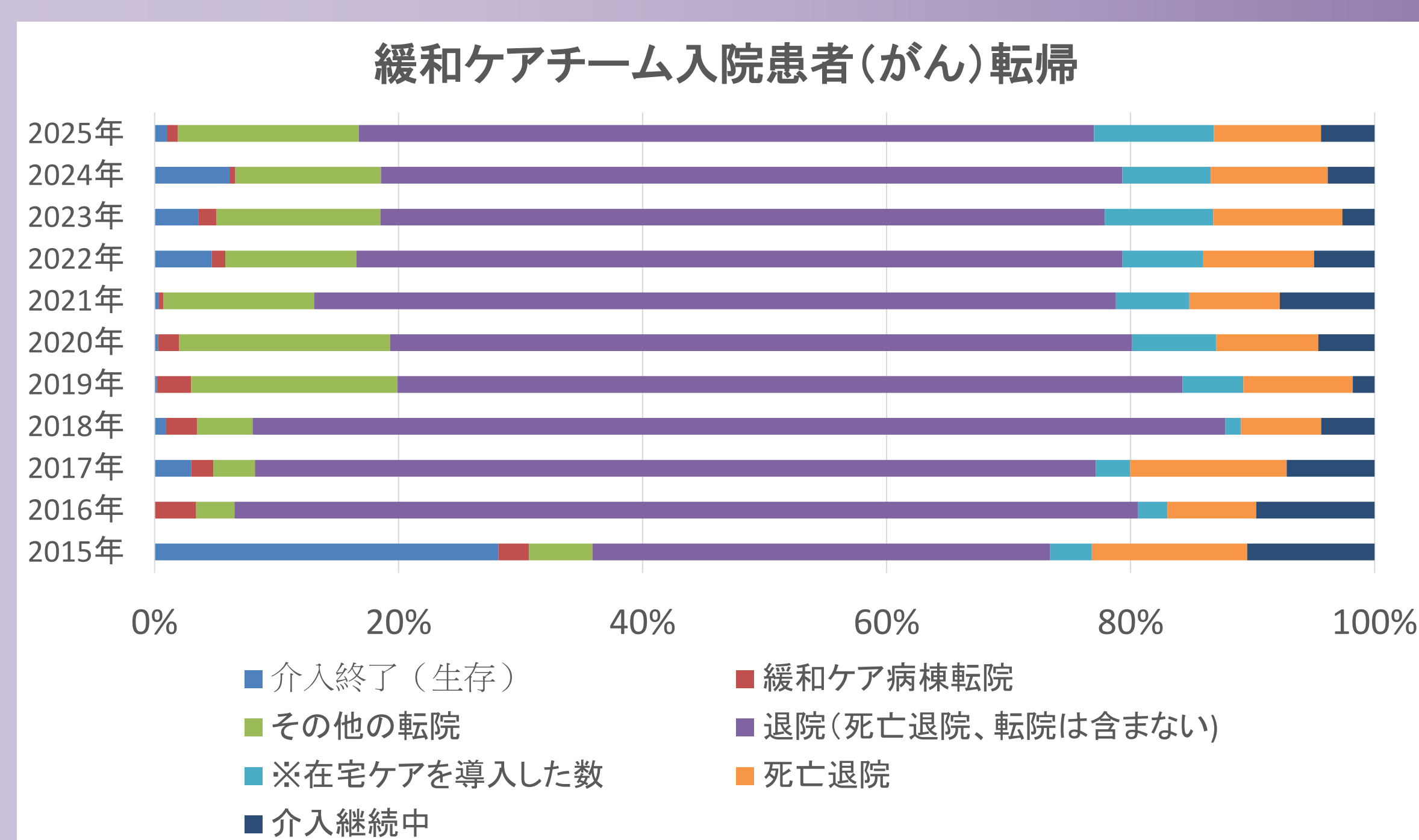
## 当院緩和チームの活動



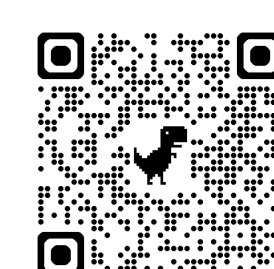
基本的には成人のがん患者さんがほとんどです  
その年によっては小児症例があったりがん以外の疾患患者さんが多かったりバリエーション豊かです



がん患者さんに限った初診時の依頼内容です  
基本的に身体症状緩和がメインですが不安やせん妄といった精神症状でご依頼いただくこともあり  
精神科の先生方にも相談させていただきます



がん患者さんに限った転帰です  
治療の方が多くのご自宅へ帰られることが多いですが  
在宅ケアの導入や転院したりと他施設と医療連携が必要となる場面も多々あります



連絡先：緩和ケア診療部  
asahikawa.kanwa.office@gmail.com